＜様式1＞

平成 30年 07月 09日

国土交通大臣　殿

地域型住宅グリーン化事業　適用申請書

【平成30年度】

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実に相違ありません。

地域型住宅の名称	からだにやさしい自然素材と快適で低燃費な家
グループの名称	からだもお財布も健康な住宅を創る会
直近採択グループ番号	06-0579-0135

（グループ代表者）

代表者名	渡邊　浩二　代表者印
代表者所属先	株式会社渡辺工務店
代表者所在地	福島県伊達市梁川町小梁川27-1
代表者電話番号	0245-77-0409

（グループ事務局）

事務局事業者名	末永木材株式会社
事務局担当者名	末永　泰仁　印
事務局郵便番号	960-0768
事務局所在地	福島県伊達市梁川町柳田字町頭46
事務局電話番号	0245-77-5143
事務局FAX	0245-77-5728
事務局担当者E-mail	suenaga@gol.ne.jp

※）　日付以外は、様式2-1からリンクする為、入力は必要はありません。

＜地域型住宅の生産体制＞　　＜様式２－１＞

１．地域型住宅の名称(必須)	からだにやさしい自然素材と快適で低燃費な家
２．グループの名称(必須)	からだもお財布も健康な住宅を創る会
３．直近採択グループ番号(必須)	06-0579-0135
４．地域型住宅供給対象地域(必須)	福島県、宮城県南部
５．結成年(必須)	2016　年
６．グループ代表者名(必須)	渡邊　浩二
７．グループ代表者の所属先(必須)	株式会社渡辺工務店
８．グループ代表者所在地(必須)	福島県伊達市梁川町小梁川27-1
９．グループ代表者電話番号(必須)	0245-77-0409
１０．グループ事務局事業者名(必須)	末永木材株式会社
１１．グループ事務局担当者名(必須)	末永　泰仁
１２．グループ事務局郵便番号(必須)	960-0768
１３．グループ事務局所在地(必須)	福島県伊達市梁川町柳田字町頭46
１４．グループ事務局電話番号(必須)	0245-77-5143
１５．グループ事務局FAX番号(必須)	0245-77-5728
１６．グループ事務局担当者E-mail(必須)	suenaga@gol.ne.jp

（構成員数）		（構成員を含まない理由）
Ⅰ．原木供給	1	
Ⅱ．製材・集成材製造・合板製造	4	
Ⅲ．建材流通（木材を扱わない事業者を除く）	3	
Ⅳ．プレカット	2	
Ⅴ．設計	2	
Ⅵ．施工	9	
Ⅶ．木材を扱わない流通	0	
Ⅷ．Ⅰ～Ⅶ以外の業種	0	

	対象となる地域材の名称	地域材の産地	認証制度等の名称 ※以下該当の1、2、3の番号を番号記入欄に記入してください。 1.都道府県の産地認証制度等によるもの 2.民間の第三者機関による認証制度(FSC、PEFC、SGEC等) 3.林野庁作成の「木材・木材製品の合法性、持続可能性のためのガイドライン(平成18年2月)に基づき合法性が証明されるもの 4.クリーンウッドに基づき合法であることが確認された木材・木材製品（合法伐採木材等証明）	番号記入欄	国内・国外
A．使用する地域材に関する事項　(必須)	■　合法木材証明制度を利用する	国産材		3	国内
	■　合法木材証明制度を利用する	外材		3	国外
	□　PEFC認証制度を利用する	国産材		2	国内
	□　PEFC認証制度を利用する	外材		2	国外
	□　SGEC認証制度を利用する	国産材		2	国内
	□　FSC認証制度を利用する	国産材		2	国内
	□　FSC認証制度を利用する	外材		2	国外
	□　FIPC認証制度を利用する	国産材		2	国内
	□　クリーンウッド法に基づく証明	国産材		4	国内
	□　クリーンウッド法に基づく証明	外材		4	国外

B．平成３０年度における補助対象の木造住宅 の申請要望戸数、地域材加算要望戸数、 三世代同居対応加算要望戸数（必須）	長寿命型	長期優良住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		0	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		0	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸
			未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		1	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	1	戸
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		0	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸
	高度省エネ型	認定低炭素住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		0	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		0	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸
			未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		3	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	3	戸
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		1	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	1	戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸
		性能向上計画認定住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上))の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		0	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		0	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸
			未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		0	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		0	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸
		ゼロ・エネルギー住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)による申請戸数	今年度要望する戸数(上限125万円)		0	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限125万円)		0	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸
			未経験工務店(3戸(7戸)以下)による申請戸数	今年度要望する戸数(上限140万円)		3	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	3	戸
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限140万円)		0	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸

C. 平成30年度当初予算における補助対象の優良建築物の申請要望棟数及び床面積	優良建築物の申請棟数	今年度要望する棟数及び面積	0	棟	
			0	㎡	
		その内9月までに交付申請が確実にできる棟数及び面積	0	棟	
			0	㎡	

D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール （必須）	話し合いにより配分を決定する。

E．平成２９年度の執行状況(必須)	長寿命型(長期優良住宅)									
		採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
	高度省エネ型(認定低炭素住宅)									
		採択戸数	2	戸	交付申請戸数	2	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	2	戸
	高度省エネ型(性能向上計画認定住宅)									
		採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
	高度省エネ型(ゼロ・エネルギー住宅)									
		採択戸数	3	戸	交付申請戸数	3	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	3	戸
	優良建築物型									
		採択棟数	0	棟	交付申請戸数	0	棟	完了実績(竣工予定含む)棟数	0	戸
		採択床面積	0	㎡	交付申請床面積	0	㎡	完了実績(竣工予定含む)床面積	0	㎡

＜様式 2-2・Ⅰ＞

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅰ．原木供給（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

グループ構成員に原木供給者を含まない場合、及びグループにおける地域材供給ルートにおいて原木供給者を含まないことがある場合の理由

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅰ．原木供給						
7	Ⅰ － 2	吾妻林業株式会社		960-2151	福島県福島市桜本字川原21-1	024-591-3647
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					

＜様式 2-2・Ⅱ＞

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅱ．製材・集成材・合板製造（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

グループ構成員に製材・集成材・合板製造業者を含まない場合、及びグループにおける地域材供給ルートにおいて製材・集成材・合板製造業者を含まないことがある場合の理由

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅱ．製材・集成材・合板製造						
7	Ⅱ － 2	吾妻林業株式会社		960-2151	福島県福島市桜本字川原21-1	024-591-3647
7	Ⅱ － 5	末永木材株式会社		960-0768	福島県伊達市梁川町柳田字町頭46	024-577-5143
9	Ⅱ － 6	株式会社ヤマサンワタナベ		329-2136	栃木県矢板市東町1178番地	0287-43-0755
9	Ⅱ － 7	有限会社マルハチ		329-2132	栃木県矢板市沢22	0287-43-0641
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					

＜様式 2-2・Ⅲ＞

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅲ．建材流通（木材を扱わない事業者を除く、長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

グループ構成員に建材流通（木材を扱わない事業者を除く）を含まない場合、及びグループにおける地域材供給ルートにおいて建材流通（木材を扱わない事業者を除く）を含まないことがある場合の理由

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅲ．建材流通（木材を扱わない事業者を除く）						
7	Ⅲ － 5	末永木材株式会社		960-0768	福島県伊達市梁川町柳田字町頭46	024-577-5143
9	Ⅲ － 8	株式会社金平		320-0818	栃木県宇都宮市旭2-2-2	028-674-3323
13	Ⅲ － 18	株式会社東京ハナゾノ		143-0023	東京都大田区山王1丁目9番16号	03-3778-8000
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －				

＜グループ構成員記入用リスト＞　Ⅳ．プレカット（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

＜様式 2-2・Ⅳ＞

グループ構成員にプレカット事業者を含まない場合、及びグループにおける地域材供給ルートにおいてプレカット事業者を含まないことがある場合の理由

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅳ．プレカット						
7	Ⅳ － 4	株式会社赤井製材所		979-3115	福島県いわき市小川町下小川字広畑167	0246-83-0123
9	Ⅳ － 8	株式会社金平		320-0818	栃木県宇都宮市旭2-2-2	028-674-3323
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －				

＜様式 2-2・Ｖ＞

＜グループ構成員記入用リスト＞Ｖ．設計（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

グループ構成員に設計事業者を含まない場合、その理由

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号	省エネ講習修了済	省エネ講習受講予定
Ｖ．設計							○	○
7	Ｖ － 15	株式会社渡辺工務店建築設計事務所		960-0785	福島県伊達市梁川町小梁川27-1	024-577-0409	○	
7	Ｖ － 16	株式会社中山建築研究所		960-0786	福島県伊達市梁川町南本町109-3	084-577-0844	○	
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －					

<グループ構成員記入用リスト>Ⅵ. 施工-1(長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通)

<様式 2-2・Ⅵ-1>

県番号	構成員番号	事業者番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号	省エネ講習修了済	省エネ講習受講予定
Ⅵ. 施工-1(長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通)							9	○	○
7	Ⅵ - 9	90892	株式会社渡辺工務店		960-0785	福島県伊達市梁川町字小梁川27－1	024-577-0409	○	
7	Ⅵ - 10	91023	有限会社　中山建築		960-0786	福島県伊達市梁川町南本町108－2	024-577-0844	○	
7	Ⅵ - 11	91000	有限会社　佐々木木工所		960-0807	福島県伊達市霊山町字石田字根古屋57番地	024-586-1270	○	
4	Ⅵ - 12	90556	株式会社佐久間工務店		989-0227	宮城県白石市田町三丁目2－122	0224-26-3212	○	
7	Ⅵ - 13	91062	有限会社斎藤建業		960-0703	福島県伊達市梁川町山舟生字高倉8-4	024-577-3839	○	
7	Ⅵ - 14	90796	株式会社　菊田工務店		960-8165	福島県福島市吉倉字万田10－4	0245-46-1442	○	
7	Ⅵ - 17		有限会社田中工務店		960-0261	福島県福島市飯坂町中野字尾崎前14-2	024-542-3531		○
7	Ⅵ - 19		きづくり家　匠		960-0684	福島県伊達市保原町上保原字向台1番219	024-597-7107		○
7	Ⅵ - 20	90812	株式会社　氏家		960-8152	福島県福島市鳥谷野字水汲田42－4	024-545-5555	○	
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -						

県番号	構成員番号	事業者番号	事業者名	平成29年（1月～12月）の元請実績及び直近3年の年平均元請実績										補助金活用実績の合計数(H27～H29)			被災地に該当	ZEHビルダーに該当	BELS工務店に該当
Ⅵ. 施工-2				元請の新築住宅供給戸数		うち木造長期優良住宅の実績		うち認定低炭素住宅・性能向上計画認定住宅の実績合算		うち木造ゼロエネ住宅の実績		優良建築物の着工床面積の実績		長期優良住宅	高度省エネ型住宅	ゼロエネ住宅	○	○	○
				H29年実績	直近3年平均	H29年実績	直近3年平均	H29年実績	直近3年平均	H29年実績	直近3年平均	H29年実績	直近3年平均						
7	Ⅵ－ 9	90892	株式会社渡辺工務店	10 戸	10 戸	0 戸	0 戸	1 戸	0 戸	2 戸	1 戸	㎡	㎡	7以下	7以下	7以下	○	○	○
7	Ⅵ－ 10	91023	有限会社 中山建築	1 戸	1 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	7以下	7以下	7以下	○		
7	Ⅵ－ 11	91000	有限会社 佐々木木工所	2 戸	2 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	7以下	7以下	7以下	○		
4	Ⅵ－ 12	90556	株式会社佐久間工務店	3 戸	3 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	7以下	7以下	7以下	○	○	
7	Ⅵ－ 13	91062	有限会社斎藤建業	0 戸	1 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	7以下	7以下	7以下	○		
7	Ⅵ－ 14	90796	株式会社 菊田工務店	3 戸	3 戸	0 戸	0 戸	1 戸	0 戸	1 戸	0 戸	㎡	㎡	7以下	7以下	7以下	○	○	
7	Ⅵ－ 17		有限会社田中工務店	1 戸	1 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	7以下	7以下	7以下	○		
7	Ⅵ－ 19		きづくり家 匠	1 戸	1 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	7以下	7以下	7以下	○		
7	Ⅵ－ 20	90812	株式会社 氏家	1 戸	3 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	7以下	7以下	7以下	○	○	
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡				

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅶ. 木材を扱わない流通

＜様式 2-2・Ⅶ＞

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅶ. 木材を扱わない流通						
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					

＜様式 2-2・Ⅷ＞

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅷ．Ⅰ～Ⅶ以外の業種（畳、瓦、襖等の住宅資材の供給事業者等）

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅷ．Ⅰ～Ⅶ以外の業種						
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					

＜地域型住宅グリーン化事業に対する取り組み＞（長寿命型・高度省エネ型・優良建築物型共通）　　＜様式3－1＞

1．地域型住宅の名称・対象地域(必須)	（地域型住宅の名称）からだにやさしい自然素材と快適で低燃費な家	（地域型住宅供給対象地域）福島県、宮城県南部
2．グループの名称・結成年(必須)	（グループの名称）からだもお財布も健康な住宅を創る会	（結成年）2016 年
3．過去のグリーン化事業採択グループ番号(必須)	06-0579-0135	

4．地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み

※記入した内容おいて「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物（非住宅））の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ア．特徴ある地域型住宅の目標設定

【平成30年度対応方針】		◎、○記入欄
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	・耐震性能や劣化対策を重視し向上に努める。 期間の寒さ対策のため、高断熱化を図り、平成25年種エネ基準以上の性能となるようにする。 性能を高め、冷暖房器などの効率を良くして使用エネルギーを削減できるような性能とする。 ・冬 ・気密	◎
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	・夏季期間の日射遮蔽と冬期間の日射取得やその土地に合った風の取り込みなど、パッシブを考えた様式とする。	◎
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	・年間を通じて快適で省エネルギーな住宅となるようなデザインをする。	◎
④ ①～③の背景	東日本大震災以降、住宅のエネルギーを意識するお客様が増えている。 た、当地域では、夏は全国でも1,2を争うよな猛暑になり、冬季間は、時折大雪が降るなど気象条件が極端であることから 冬ともに快適で省エネルギーな住宅の提供ができるようにしないといけない。 ま 夏、	◎
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	目標として、2020年までに参加事業者すべてのゼロエネルギー住宅の施工経験と、1棟でも多い施工実績をあげる。	◎

イ．効率的で適切な就業環境が確保された住宅生産体制の整備

【平成30年度対応方針】					◎、○記入欄
a	①-1 用材の寸法規格化	□ 行っていない	■ 行っている→	内容：グループ会員ごとに、標準設計基準を策定する。その中でも主として使用する建材の寸法等をルール化し安定的な流通と現場施工を実現する。	◎
	①-2 使用建材の統一	□ 行っていない	■ 行っている→	内容：グループ会員ごとに、標準設計基準を策定する。その中でも主として使用する建材をルール化し安定的な流通と現場施工を実現する。	◎
	①-3 標準仕様の設定	□ 行っていない	■ 行っている→	内容：グループ会員ごとに、標準設計基準を策定する。その中でも主として使用する建材をルール化し安定的な流通と現場施工を実現する。	◎
	②-1 建材・資材調達の共同化	□ 行っていない	■ 行っている→	内容：グループ会員ごとに、標準設計基準を策定する。その中でも主として使用する建材をルール化し安定的な流通と現場施工を実現する。	◎
	②-2 調達事務の合理化	□ 行っていない	■ 行っている→	内容：グループ会員ごとに、標準設計基準を策定する。その中でも主として使用する建材をルール化し安定的な流通と現場施工を実現する。	○
	③ 生産の合理化等に向けた検討委員会等の設置	□ 行っていない	■ 行っている→	内容：役員会において決定して設置を行いたい。	○
	④ 生産の合理化等に向けて事務局が果たす役割	□ ない	■ ある →	内容：グループ会員ごとに策定される設計基準、施工基準をまとめ、その結果を会員に伝達してよりよい生産の合理化を目指す。	○
b	① グループの信頼性向上に向けた施工基準	□ ない	■ ある →	内容：グループとして、地域型住宅の標準設計、標準施工基準を策定し外皮性能や気密性能の具体定期な数値の目標を掲げ提供する住宅の性能を向上させる。	◎
	② グループの信頼性向上に向けた検査ルール	□ ない	■ ある →	内容：グループとして、地域型住宅の標準設計、標準施工基準を策定し外皮性能や気密性能の具体定期な数値の目標を掲げ第3者機関と連携し提供する住宅の性能を向上させる。	◎
	③ グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール	□ ない	■ ある →	内容：グループとして策定された標準設計、施工基準を基に、設計業務の流れを定め仕様の確定をルール化し業務効率の促進と流失経費の発生を防ぐ。	◎
	④ グループの信頼性向上に向けたその他の具体的取組	□ ない	■ ある →	内容：各諸団体からのセミナーや勉強会などの案内を会員に発信し参加を促し会員の知識や能力の向上に努め、グループ内でもセミナーや見学会などの開催、参加を促進したい。	◎
c	① 週休2日制の導入の取組	■ ない	□ ある →	内容：会員内で一部実施しているところもあるが、完全ではないので努力する。	○
	② 技能や経験にふさわしい処遇の実現に向けた取組	■ ない	□ ある →	内容：会員内で一部実施しているところもあるが、完全ではないので努力する。	○
	③ 社会保険への加入	■ ない	□ ある →	内容：会員内で一部実施しているところもあるが、完全ではないので努力する。	○
	④ 安全及び健康の確保のための取組	■ ない	□ ある →	内容：会員内で一部実施しているところもあるが、完全ではないので努力する。	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	123				

※） 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

＜地域型住宅グリーン化事業に対する取り組み＞（長寿命型・高度省エネ型・優良建築物型共通）　　＜様式３－２＞

１．地域型住宅の名称・対象地域（必須）	（地域型住宅の名称）からだにやさしい自然素材と快適で低燃費な家	（地域型住宅供給対象地域）福島県、宮城県南部
２．グループの名称・結成年月（必須）	（グループの名称）からだもお財布も健康な住宅を創る会	（結成年）2016　年
３．過去のブランド化事業採択グループ番号（必須）	06-0579-0135	

4．地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み

※記入した内容おいて「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物（非住宅））の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ウ．長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備

【平成30年度対応方針】						◎、○記入欄
a	①住宅履歴情報の蓄積	①-1 内容・蓄積の共通ルール	□ ない	■ ある →	内容：不動産流通促進センターが提唱する資産価値向上に必要な情報を蓄積し住宅の資産価値向上	◎
		①-2 情報サービス機関の活用	□ ない	■ ある →	内容：長期優良住宅に置ける住宅履歴情報は任意の第三者機関（情報サービス機関）を活用する。	◎
		①-3 履歴情報蓄積の確認手法	■ ない	□ ある →	内容：使用するシステムの登録証を事務局に提出する。	◎
	②メンテナンス基準の整備	②-1 点検の共通ルール	□ ない	■ ある →	内容：長期優良住宅による維持保全計画書及びインスペクションガイドラインによる点検箇所を推奨し	◎
		②-2 補修の共通ルール	□ ない	■ ある →	内容：住宅産業協議会が推奨するメンテナンス内容に沿って補修等の実施を勧める。	◎
		②-3 点検補修実施の確認手法	□ ない	■ ある →	内容：点検実施報告書を事務局に提出する。	◎
	③住まいの管理	③-1 住まい管理勉強会の実施	□ ない	■ ある →	内容：OB顧客に対し住まい管理勉強会やセミナーを開催したい。	◎
		③-2 DIY体験会等の実施	□ ない	■ ある →	内容：OB顧客に対し住まい管理勉強会やセミナー、実演塗装やメンテナンス方法実演などをを開催し	◎
		③-3 その他の相談会等の実施	□ ない	■ ある →	内容：各施工事業者の見込み客や一般ユーザー向けの高性能住宅説明会セミナーなどを実施したい	◎
	④	維持管理委員会等の設置	□ ない	■ ある →	内容：役員会にて諮る。	◎
	⑤	その他の維持管理の手法	□ ない	■ ある →	内容：委員会を設置し、各施工業者によりシステム履歴保存されている情報を確認共有する。	◎
b	①	グループ構成員の倒産廃業時のバックアップルール	□ ない	■ ある →	内容：役員会により会員内で引継ぎ施工事業者を選定し、地域型住宅の資産価値が守られる体制を	◎
	②	過去の瑕疵内容等に学ぶ勉強会の実施	□ ない	■ ある →	内容：当グループで建築された地域型住宅の事例を紹介し知識向上など情報共有などを行う。	◎
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。			地域型住宅で実施する定期点検の項目の内容は、インスペクションガイドラインとリンクさせ、将来のリフォームを検討する際の劣化状況を円滑に進めていく。これにより地域型住宅を建築した場合は、インスペクションが実施され、的確な劣化状況の把握と維持管理ができる土壌をつくる。			◎

エ．グループの技術力の向上

【平成30年度対応方針】						◎、○記入欄
a	①	未経験工務店等への施工技術研修会等の開催	□ ない	■ ある →	内容：施工実績のある会員施工店の現場において施工技術研修を行う。	◎
	②-1	品質管理のための共通ルール	□ ない	■ ある →	内容：会員ごとに策定された施工基準を施工業者と管理者が共有し正しい管理・施工を奨める。	○
	②-2	上記共通ルールが守られていることの確認手法	□ ない	■ ある →	内容：会員ごとに策定される施工基準により施工されているか第3者による現場検査を推奨する。	○
	③-1	需給計画の策定	□ ない	■ ある →	内容：地域産材を活用しながら住宅の高性能化、パッシブの施工法を取り込んで行きたい。	○
	③-2	技術力向上のための中長期的な計画	□ ない	■ ある →	内容：断熱、気密、開口部、換気などの部材の選定、施工法などを常に模索し向上に努めていくこと。	◎
	④	③に基づく業種ごとの合理化の取組	□ ない	■ ある →	内容：定例会などの会合において使用部材の統一化を図りコストダウンを進めたい。	◎
b	①-1	省エネ技術講習会への施工事業者社員の参加人数	昨年度までの終了者数　3		今年度の参加目標人数　2	○
	①-2	省エネ技術講習会への請負技能者等の参加人数	昨年度までの終了者数　0		今年度の参加目標人数　2	○
	②	省エネ技術講習会への参加促進のための取組	□ ない	■ ある →	内容：事務局が省エネ技術講習会の開催予定などを随時案内する。	◎
c	①	新たな技術等の導入	□ ない	■ ある →	内容：積極的に省エネやパッシブに関する部材に対する勉強会などを開催していきたい。	◎
	②	新たな技術等の開発	□ ない	■ ある →	内容：開発というより、部材の相性などを考え上手に組み合わせた工法を考え性能の向上を図りたい。	◎
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。			会員施工店相互の情報交換、意識向上を図り、高性能な住宅を提供できるよう技術も向上させたい。			◎

※）　行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1．地域型住宅の名称・対象地域（必須）	（地域型住宅の名称）からだにやさしい自然素材と快適で低燃費な家	（地域型住宅供給対象地域）福島県、宮城県南部
2．グループの名称・結成年月（必須）	（グループの名称）からだもお財布も健康な住宅を創る会	（結成年）2016 年
3．過去のブランド化事業採択グループ番号（必須）	06-0579-0135	

4．地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み　※記入した内容おいて「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物（非住宅））の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

オ．地域の産業・住文化・景観等への寄与

【平成30年度対応方針】			◎、○記入欄
a	① 地域材利用に関する共通ルール（必須）	土台をヒノキ、柱をスギ、ヒノキ、梁桁にはスギ、マツ、ベイマツなどの地域材の乾燥材を用いること。	◎
	② 地域材利用の1棟当たりの割合（必須）	□ 50%未満　■ 50%以上　□ 80%以上	◎
	③ 標準的な地域材の使用部位（必須）	主要構造材　土台：□ 使用していない　■ 使用している 柱：□ 使用していない　■ 使用している 梁・桁等の横架材等：□ 使用していない　■ 使用している 羽柄材　間柱、根太、垂木等：□ 使用していない　■ 使用している 造作材　枠材、廻縁等：□ 使用していない　■ 使用している 板材　壁板、床板等：□ 使用していない　■ 使用している	◎
	④ 地域材の流れ（フロー図）などグループの取組に関する補足説明	（フロー図） 原木供給業者 → 製材工場 → 市場問屋 / プレカット工場 → 販売店 → 施工店 必ず納品書（出荷証明）を添付すること。	
b	①-1 地域材在庫把握の仕組	□ ない　■ ある →　内容：　事務局が施工状況やプレカット工場と連携を取り地域材の在庫量の把握や調整を行う。	◎
	①-2 地域材価格の共有の仕組	□ ない　■ ある →　内容：　事務局が極端な価格変動などの情報収集を製材やプレカット各工場と意見交換を行う。	◎
	② グループ全体における地域材の需給予測	□ 行っていない　■ 行っている→　内容：　事務局が受注状況などを把握して安定供給に努める。	◎
c	①-1 畳の活用	□ 行っていない　■ 行っている→　内容：　積極的に施主へのPRを行う。	○
	①-2 和瓦の活用	■ 行っていない　□ 行っている→　内容：	○
	①-3 襖の活用	□ 行っていない　■ 行っている→　内容：　積極的に施主へのPRを行う。	○
	①-4 障子の活用	□ 行っていない　■ 行っている→　内容：　積極的に施主へのPRを行う。	○
	②-1 その他地域の伝統的な素材の活用	■ 行っていない　□ 行っている→　内容：	○
	②-2 その他地域の伝統的な意匠の活用	■ 行っていない　□ 行っている→　内容：	○
d	① 地域の伝統的なデザインを継承する取組	■ 行っていない　□ 行っている→　内容：	○
	② 地域の住まい方の継承につながる取組	■ 行っていない　□ 行っている→　内容：	○
	③ 地域の街並み形成へ寄与する取組	■ 行っていない　□ 行っている→　内容：	○
	④ 和の住まいの要素を取入れた取組	■ 行っていない　□ 行っている→　内容：	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。			

カ．その他

【平成30年度対応方針】		◎、○記入欄
東日本大震災の復興に資する取組	当地域も被災地であることから復興のためにも地域材の積極的利用を継続して推進する。	◎
平成28年熊本地震の復興に資する取組	遠方なので直接的な協力は難しいかもしれないが、なにかお手伝いできることは、していきたい。	◎

※）　行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

１．地域型住宅の名称・対象地域（必須）	（地域型住宅の名称）からだにやさしい自然素材と快適で低燃費な家	（地域型住宅供給対象地域）福島県、宮城県南部
２．グループの名称・結成年月（必須）	（グループの名称）からだもお財布も健康な住宅を創る会	（結成年）2016 年
３．過去のブランド化事業採択グループ番号（必須）	06-0579-0135	

４．地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み

キ．グループが取組む木造住宅・建築物の特徴
※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。
※申請に係る認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロ・エネルギー住宅、優良建築物の性能や特徴等について記入してください。

・ゼロエネルギー住宅
ゼロ円ルギー住宅に関しては、開口部、断熱性能を強化し、耐震性能や劣化対策にも力を入れ、地域の気候や風土に合わせたパッシブの手法を取り入れたデザイン、部材の選定を行うと共に、BELSの第3者認証、エアコン、換気設備の高効率化、LED照明の標準化などとHEMSでのエネルギーの管理や太陽光やコージェネなどの創エネ、将来的には蓄電なども装備したゼロエネルギー住宅を推進していきたい。

・認定低炭素住宅
認定低炭素住宅においても、断熱性能、耐震性脳、劣化対策を高める施工を行い、認定基準に基づいた施工を確実に行えるようにし、ゼロエネルギー住宅と同等の断熱性能を推進していきたい。

※）　行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。